

日産科学振興財団 理科／環境教育助成 成果報告書

回次：第 3 回 助成期間： 平成17年11月1日～平成 18 年10月31日

テーマ： 「地球にやさしい環境について考えよう」～自分たちにできる身近な活動を通して～

氏名： 安藤 正彦 所属： 横浜市立二つ橋小学校

1. 課題の主旨

本校は、瀬谷市民の森に隣接した場所にあり、校内にも多数の樹木を植え、自然園、グリーンガーデンと呼ばれる中庭をもつ緑豊かな学校である。平成16年度には、神奈川県の「グリーン購入支援事業」に取り組んだ。また、瀬谷区でのごみの分別収集も始まり、校内でのごみの分別、リサイクルの推進、G30への取り組みが活発に行われるようになった。

わたしたちの周りにある豊かな自然を大切にしていきたい、わたしたちの生活との関わりを考え、この環境を守っていくために自分たちにできることを行っていきたい、そして、地域の人々にも伝え、活動していきたいと考え研究主題を設定した。

2. 準備

年間活動の見直しを各学年に依頼をする。

それぞれの活動に必要な物をリストアップして購入する。

3. 指導方法

各学年での環境について児童とともに取り組む。

外部講師による学習

4. 実践内容

①環境教育活動全体計画の見直し

職員の環境委員会を中心に、学校環境を生かした環境教育への取り組みを洗い出し、全校・学年・委員会活動を中心に具体的に表す。

②各学年の環境教育年間計画の作成

教科学習との関連をはかり、本校の環境を生かした年間計画の作成に取り組む。外部講師による出前授業なども積極的に取り入れ、学年としての環境教育の重点化をはかる。

③グリーン購入の推進

平成16年度には、神奈川県の「グリーン購入推進授業」の委託を受け、5年生を中心に取り組んできた。ごみの分別には学校でも家庭でも取り組んでおり、みんなの関心も高い。しかし、ものを買うときに、必要かどうかを考えて、できるだけ環境にやさしいものを選ぶグリーン購入についても意識はそれほど高くないようと思われる。これもG30につながる大切な活動である。そこで、3年生の社会科学習「わたしたち二つ橋お店たんけんたい」

5年生の総合的な学習「環境にやさしい買い物～やってみようグリーン購入～」を通してグリーン購入について学び、活動の推進をはかりたい

④外部講師による効果的な学習の推進

どのような外部講師がいるのか、どの学習で出前講座を開くと効果的なのかをそれぞれの学年で検討し、各学年の年間計画の中に位置づけ、計画的に学習が進められるようにする。

5. 成果・効果

グリーン購入の推進については、5年生を中心に平成16年度より継続して行っており、「環境にやさしいものの買い物」への意識が高まっている。無駄な買い物をしないことや環境を大切にするマークに関心を持ち、生活しようという意識が芽生えてきた。今年度は、3年生の社会科学習の「わたしたち二ツ橋お店たんけんたい」でもグリーン購入に触れた学習をすすめることができた。学年に応じた学習を積み重ねていくことで環境にやさしい買い物への意識を定着させていきたい。

また、総合的な学習の発表の場である「二つ橋フェスティバル」で、地域の方、保護者に向けてグリーン購入の意味や取り組み方について伝えることができた。今後も継続していきたい活動である。

NPO 団体「ナウシカの会」による「森の話と工作教室」も今年で4年目にある。森や間伐材への関心が高まり、森がわたしたちの暮らしに深くかかわっていることを理解することができたと思う。市民の森に隣接した学校の特色ある教育活動として、今後も継続していきたい。

今年度、学校全体で地域清掃にも取り組んだ。学校の周辺の道路や公園を中心に、高学年と低学年とのペア学年で3日間清掃を行った。学校だけではなく、地域にも目を向けて環境整備の意識をもつことができたと思う。

また、屋上緑化にも取り組んだ。夏期の断熱、冬期の保温といった省エネルギー推進や安らぎ感の向上という心理的作用、自然との共生の面で効果があると思われる。その効果を検証しつつ、計画を広げていきたい。

各学年の取り組みは、年間計画をもとに実施し、活動例として指導略案の形にまとめた。1・2年は生活科との関わりで身近な生き物、植物のこと、どんぐりを育てることに挑戦した。

6. 所 感

児童とともに活動していく中で、児童の意識も高まってくると同時に職員の環境に対する意識も高まってきたように思う。さまざまな効果を検証して、活動を広げていくことができればいい。

7. 今後の課題や発展性について

年間活動計画の検証と新たな单元開発

学年相互の関わりや学年を追った学習の進め方の研究

校地の有効活用と計画的な活用(花壇、グリーンガーデン、自然園等)

各学年の重点目標の設定とそれに向かって取り組み